

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価報告書

(令和元年度対象)

令和2年12月

芝山町教育委員会

はじめに

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(平成20年4月1日施行)第26条第1項並びに第2項に基づき作成したものである。

また、点検・評価の具体的な項目や指標、議会への報告や公表の方法については、特に国が基準を定めることは行わず、各教育委員会が実情を踏まえて決定することとされている。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(平成20年4月1日施行)

第26条第1項

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

第26条第2項

教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

「評価」欄の記載内容

評価の区分	評価の内容
◎ (達成)	優れた取り組みや状況等が見られ、課題はほとんどなく、順調に目標が達成された。
○ (概ね達成)	良い取り組みや状況等が見られ、若干の課題はあるが、概ね順調に目標が達成された。
△ (課題がある)	課題が少なからずあり、目標達成がやや順調でない、又は、一定の成果はあったが新たな課題が生じた。
× (達成が困難)	課題が多く、まだ改善に向けた取り組みに着手できていないか、着手してもほとんど成果が上がらないなど目標がほとんど達成できなかった。

令和2年度 芝山町教委事務の点検・評価について

芝山町教育委員会では、急激に変化する時代を担う子供たちに豊かな人間性を培うと共に、人生100年時代における生きがいの実感と時代の変化への対応、さらには自分にふさわしい生き方を探るなど、町民のニーズに応えた学習環境づくりを進めています。更によりよい教育施策を探るために点検評価を行います。

〈 評価の流れ 〉

教育委員会内評価	教育長、教育課長、学校教育担当課長、社会教育係副主幹、文化振興係副主幹、学校教育係長で事業の評価を行う。
教育委員評価	教育委員に各係の事業の内容・自己評価を説明し意見と評価をいただく。
評価の了承	各教育委員の評価をまとめ、定例教育委員会において、内容の確認を行う。
学識経験者の知見の活用	学識経験者に意見を伺う。
教育委員会議議決	学識経験者の意見の説明と議会への提出や町民への公表に向け、内容の確認を行う。

I 生涯学習の充実

1 生涯学習機会の充実

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じた学習機会を提供することができるよう各種学級・講座の充実を図ります。 ・文化活動や健康づくり、福祉、環境問題など多様な学習ニーズに対応した学習機会の提供に努めます。 ・親子体験活動、小・中学生を対象とした集団活動の事業展開により、生きる力の基礎づくりを推進します。 ・地域活動やボランティア活動などを通して、学習の成果をまちづくりに生かしてもらおう仕組みづくりに努めます。 	担当課の評価 (社会教育係) ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>各種学級・講座の充実に向け、講師の人選を検討しており、学級・講座を適切に運営している。</p> <p>親子や小・中学生を対象とした事業展開は各団体・委員会で進められており、これからは異年齢交流などのイベントを企画運営し、さらに体験活動に重点をおいた取組を検討したい。</p> <p>文化活動やスポーツ活動など各種団体のリーダーを中心に自主的な運営が見られてきてはいるが、行政支援をさらに離れ、自主的活動が自らの力で行えるよう支援する必要がある。</p>	
学識経験者の意見	<p>○健康寿命の伸長に伴い、学習に費やせる時間も増加しているので町民のニーズに合った学習講座を用意すれば参加者は存在すると思われる。いかに町民ニーズを汲み取るかが今後の課題であり、各種サークルへの意向調査や町民全般へのアンケート等を考えてほしい。</p> <p>○多種多様な講座による学習機会を提供していることに敬意を表したい。</p> <p>今後は、町民ニーズを細かく汲み取った結果をもとに更なる検討をしてもらいたい。町民ニーズは個々で異なるので対応の難しさはあるが更なるサービスの向上を目指し、積極的に運営してほしい。</p>	

2 生涯学習設備の整備

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習の拠点施設としてもつべき機能を検討し、その結果に沿って生涯学習の推進を図ります。 地域における社会教育を推進するため、公民館の施設・設備の充実に努めるとともに、運営体制の充実に努めます。 	担当課の評価 (社会教育係) ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	町民のニーズに対応し、学校施設開放や公民館事業の各種教室を開催している。 公民館等の軽微な修理については、迅速に対応することができている。 今後は、生涯学習社会の進展に伴い、多様化する学習需要に応えるべく、機能的な改修を検討していく必要がある。	
学識経験者の意見	○町民人口が減少していく中、文化センター、公民館等の整備は慎重に無駄のないよう計画的を進めてほしい。 ○生涯学習に関わる施設は、それに代わる施設が少ないため、先を見越した改修や財源確保をしてほしい。	

3 生涯学習推進体制の整備

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 芝山町生涯学習推進のあり方を検討し、推進体制の整備を図ります。 広報による生涯学習情報など、町民に対する幅広い学習情報の提供と相談体制を整備し、町民のニーズに合った事業の展開に努めます。 生涯学習の推進に向け、各種事業のより効果的な方策の実践を検討していくなど、PDCAマネジメントサイクルの活用を図ります。 生涯学習活動を支援するリーダーの育成と人材確保を図ります。 	担当課の評価 (社会教育係) ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	各種団体に対し、リーダーを中心に組織運営を実施し、自主的活動ができるよう積極的に指導している。 各種学級・講座におけるリーダー育成・人材の発掘、確保がどの団体とも必要であり、急務である。各種学級・講座によっては、町内のみならず近隣市町との連携・協力を推進していくことが大切であると考えている。	
学識経験者の意見	○小規模自治体なので、すべてのニーズに応え、学習推進体制を整備するのは困難である。近隣市町はもとより、千葉県や国立博物館等との連携を進めてほしい。 ○生涯学習事業にあたる職員は、常に新しい事業に取り組むという気持ちをもって取り組んでもらいたい。	

II 家庭教育、青少年の健全育成

1 家庭教育の充実

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校における家庭教育学級の実施により、親の学習機会の充実を図ります。 情報提供や相談体制の整備を進める他、父親が家庭教育へ参加しやすい環境整備に努めます。 親子で体験活動ができる「若竹塾」の充実を図り、良好な親子関係づくりの一助とします。 	担当課の評価 (社会教育係) ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	若竹塾では、アンケートを基に内容を吟味し、親子が参加できる体験活動を年間10回開催しており、令和元年度は台風被害等で一部開催できなかったが8回開催した。	

	<p>家庭教育学級への参加者をさらに多くするためにも有効な広報活動が必要であると考えます。</p> <p>子育てについて、不安や悩みをもつ親が増加しつつあり、家庭教育力の向上を図るためにも、子育てに必要な情報提供を目的とした事業を検討したい。</p>
学識経験者の意見	<p>○若竹塾の中で、親子で参加できる講座を開催しているのは評価できる。</p> <p>○家庭は教育の原点であり、すべての教育の出発点である。</p> <p>家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会や情報提供など、家庭教育を支援するための施策を積極的に企画・発信してほしい。</p>

2 青少年の健全育成

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会や青年団体の育成を図り、地域における青少年活動の活発化を促進します。 体験学習やボランティア活動など、青少年の地域参加を図る学習機会の提供に努めるとともに、文化イベントや幅広い交流活動を促進します。 郡ジュニアリーダー研修会や町サマーキャンプへの参加などを通じて、青少年リーダーの養成・確保に努めます。 青少年の健全育成に向けて、環境の浄化運動を地域ぐるみで推進します。 	<p>担当課の評価 (社会教育係)</p> <p>○概ね達成している</p>
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>子ども会や青少年相談員による様々な体験活動の提供は、子どもたちが地域住民や異世代との交流を深め、コミュニケーション能力や社会性を育むことができる大切な場所となっているので今後更なる進展を望む。</p> <p>児童数の減少や休日の過ごし方の多様化等により、各事業の参加者が減ってきている。内容や開催日、効果的な広報について再考していく。</p>	
学識経験者の意見	<p>○子供会や青年団体が、継続して育成しているのは評価できる。</p> <p>指導者の確保が課題だと思うので、町内外から幅広く探してほしい。</p> <p>○青少年を取り巻く環境が大きく変化している現在、青少年の健全育成はとても重要である。</p> <p>更なる拡充が求められるとともに、時代に応じた事業展開をする必要がある。</p>	

III 学校教育の充実

1 学校教育の総合的推進

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 自ら学び心豊かで芝山町を愛する児童・生徒の育成をめざします。 教育課程編成の工夫や学習指導要領への対応を図るとともに、特別支援教育を推進します。 児童生徒の健やかな成長のために関係機関との教育連携に努めます。 	<p>担当課の評価 (学校教育係)</p> <p>○概ね達成している</p>
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>一人一人を大切にしたきめ細かな指導で、自ら学ぶ力を育み、確かな学力を身につけようと努力している。新学習指導要領の全面実施を踏まえ、学習の意義を共有し、教材の選定・開発、授業改善を図る中で、①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性の涵養等の力を高めていく必要がある。</p> <p>小・中学校ともに地域の教育力を活かした特色ある教育活動を実践するとともに、地域の伝統や歴史にふれる体験的な活動に取り組んでいる。また、特別な支援を必要とする児童生徒に対応するための教職員研修の充実及び特別支援教育コーディネーターの複数配置、学習支援員・介助員の配</p>	

	置等、現状を踏まえた条件整備が進んでいる。 町教育委員会、保育所、幼稚園、保健センター、民生児童委員など、関係機関・団体が学校教育を支援しているが、課題を明らかにして連携していく必要がある。
学識経験者の意見	○小中学校が各1校なので、教育内容で制限されることもあると思うが、逆に細かく継続的に目が届く等、利点もあると考える。現在の環境の中で最大限の教育効果をあげてほしい。 ○町が学校教育に多大な支援をしていることに感謝したい。 今後は、地域の教育力の向上、幼小中の連携、教員の資質を高めるために必要な継続した研修に取り組んでもらいたい。

2 学力向上のための指導方法の工夫・改善

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指導目標の明確化や、目標に応じた授業づくりの工夫・改善を図ります。 ・授業研究を積極的に行い、指導方法の工夫・改善を図ります。 ・少人数指導やチームティーチングなど、個に応じたきめ細かな指導を推進します。 ・補足的な学習や発展的な学習を取り入れるなど、個に応じた学習内容を工夫し、学力の向上を図ります。 	担当課の評価 (学校教育係) ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>小学校では、きめ細かな指導や特別支援教育の推進により、個に応じた学習指導を適切に実施している。</p> <p>中学校では、学習形態の工夫や外部人材を活用した体験的な学習、定期テスト前の朝や放課後を活用した学習活動を行い成果を上げている。</p> <p>更なる学力向上のために、全国学力・学習状況調査及び千葉県標準学力検査の結果を分析し、課題と対策を全職員で共通理解して日々の授業の充実に努めてほしい。</p> <p>また、学習状況の積極的な発信や家庭学習の啓発など、家庭との連携が必要である。</p> <p>県教育庁東上総教育事務所計画訪問や要請訪問、教育委員会訪問などを授業研究のよい機会と捉え、計画的に研修に取り組む必要がある。また、若手教職員等の育成のため、研修時間等を確保し、組織的に研修を進めることで学力向上につなげたいと考える。</p>	
学識経験者の意見	○学力向上の実現は学校の最も重要な役割であり、保護者の願いでもある。 学力に課題のある児童生徒の学力の向上はもちろんのこと、優れた力を有する児童生徒の力をより高める対応にも取り組んでほしい。 ○ICTを活用した学習など、日々、工夫を凝らした授業実践による、きめ細かな指導を行い、その成果として子供たちの学力向上がなされることを期待したい。また、学校は、家庭学習の習慣化など基本的な学習習慣の定着を進め、町は、地域・家庭の教育力をあげる方策に取り組む必要がある。	

3 個性や能力を伸ばす教育の推進

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語教育の充実や国際交流機会の拡充など国際理解教育を推進し、国際化・グローバル化に対応した教育の充実を図ります。 ・高度情報化社会に対応した情報教育の充実のため、ICT利活用教育の推進と、校務用パソコン及びパソコン教室の機能更新を行います。 ・障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じ、保護者の理解のもと適切な特別支援教育を行います。 	担当課の評価 (学校教育係) ○概ね達成している
--------	--	--------------------------------

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の充実を図り、学校における読書活動の推進に努めます。 	
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>小中学校それぞれにALTを1名配置し、英語教育を推進している。</p> <p>小学校にALTが常勤しているのは山武地区では芝山小だけであり、児童の指導のほか、教職員の英語指導力の向上などでもALTを活用し専門性を生かした取り組みを工夫していきたい。</p> <p>ICT機器等を活用した授業が増えてきた。校内無線LANの再整備やタブレット端末の導入に向けて、教職員の要望や近隣市町の情勢なども参考にして、具体的な施策を進めている。</p> <p>特別支援教育アドバイザーの学校訪問や保護者との面談を進め、就学支援が充実している。今後は、町教育支援委員会をより機能的に運営するとともに、学校の交流学习や共同学習の取り組みを積極的に進めるようにしたい。</p> <p>読書活動の時間確保や読み聞かせボランティアとの連携など、取り組み内容は充実してきている。今後は、図書購入費により新刊図書を継続的に充実させていきたい。</p>	
学識経験者の意見	<p>○児童数が少ない中、児童生徒個々のニーズに対応できる指導力ある教員の確保に努めてもらいたい。</p> <p>○教員が、遠隔(オンライン)授業や学習支援ソフトを使った授業がスムーズに行えるよう環境整備に努めてもらいたい。また、図書館司書の配置も含め学校図書の充実を進めてもらいたい。</p> <p>また、働き方改革を踏まえ、教員が教育に専念できる環境づくりも進めてもらいたい。</p>	

4 豊かな心をはぐくむ教育の推進

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育、道徳教育などにより豊かな心の育成を推進します。 ・積極的な体験活動の取り組みなどにより、キャリア教育を推進します。 ・子どもに寄りそう生徒指導の充実をめざします。 	担当課の評価 (学校教育係) ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>道徳教育の重要性を踏まえ、道徳授業の充実と道徳的実践力の向上に努めている。</p> <p>町の取り組みとしては、小中合同の音楽祭や町教育委員会主催の芸術鑑賞教室など、情操教育を推進している。</p> <p>小学校は、県立水郷小見川少年自然の家での宿泊体験や地域の方々の協力による勤労生産活動、中学校では、奄美大島での自然体験学習、台湾への修学旅行などが実施されている。</p> <p>小・中学校に配置されたスクールカウンセラーのカウンセリング対象を保護者にも拡大し成果をあげている。また、校内委員会や生徒指導委員会にも積極的に参加することで、学校運営の向上にも貢献している。</p>	
学識経験者の意見	<p>○町の児童生徒の多くは協調性があり、相手を思いやる心も備わっているように思う。美点ではあるが逆に自己主張が弱いと見ることもできる。</p> <p>個性に応じた情操教育を進めてほしい。</p> <p>○総じて、昨今の子供たちは、生命尊重の精神や自尊心の乏しさ、規範意識・人間関係形成力などの低下が指摘されており、これらの諸課題に対応するための施策を継続して推し進めてもらいたい。</p>	

5 食育に関する指導の充実

<p>取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「早寝・早起き・朝ごはん」を奨励し、栄養バランスを考慮した正しい食習慣を身につけます。 ・安全で安心な地元の農水産物を食生活に取り入れる事で、「食」を通して郷土愛を育てます。 ・食物アレルギーの指導・管理に努めます。 	<p>担当課の評価 (学校教育係) ○概ね達成している</p>
<p>委員会の評価 (課題問題点など)</p>	<p>食育に関する全体計画を見直し、学校給食が食育で果たす役割を明確化し、親子給食、地産地消(千産千消)などの取り組みにより実践している。また、芝山産コシヒカリを使用した米飯給食における食育指導は、郷土愛を育むことにつながっている。</p> <p>栄養教諭を中心に食育を積極的に実施し、小学校では、地域や保護者の協力を得て稲作体験や野菜作りを行っており、今後は更に学習効果を高めてほしい。</p> <p>食物アレルギーマニュアルの見直しや給食主任会議をとおしての円滑な学校給食業務の遂行をすすめている。今後は、食物アレルギーのある児童生徒が増えることが予想されるので、状況に則した対応をしていく必要がある。</p>	
<p>学識経験者の意見</p>	<p>○規則正しい食生活は生活の基本であり、本来家庭で指導するべきと考える。ただし、学校給食が果たすべき役割も大きいと考えるので出来る限りの対応をしてほしい。</p> <p>○「食べる力」の育成(食育)は、「生きる力」の育成に通じると思う。食べることは、生涯にわたり続く基本的な営みの中でも重要な事項であり、「食に関する指導事例集」等も活用し、指導の充実を図ってほしい。</p>	

6 安全教育の推進

<p>取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の安全を守り育むため、学校・PTA・地域が協力し、地域ぐるみの取り組みを実施します。 ・子どもの安全に関し、意見交換や情報共有を行い、相互理解を深め、よりよい環境づくりに努めます。 	<p>担当課の評価 (学校教育係) ○概ね達成している</p>
<p>委員会の評価 (課題問題点など)</p>	<p>スクールバス、自転車、徒歩と通学形態が様々な状況にあるが、地域やPTAの協力を得て防犯パトロールを実施している。通学路の危険箇所等の点検を実施し、危険箇所の解消に努めている。また、通学路の点検に際しては、県土木事務所、警察、学校職員も参加し、通学路状況に関わる共通理解を図る機会となっている。今後も学校安全計画に基づき、学校や地域の実態に応じた安全指導を徹底し、児童生徒の安全確保を図る必要がある。</p>	
<p>学識経験者の意見</p>	<p>○児童生徒が安全に学校教育を受ける権利を保障するのは設置者たる教育委員会の役割である。保護者の協力も必要だが万全の体制をとってほしい。</p> <p>○日常生活において、危険を察知し回避するために最善を尽くそうとする主体的な行動力を育成するとともに、自他の命を守るための「自助・共助・公助」の視点から安全教育を推進することを望む。</p> <p>更に、学校や地域の実情を踏まえた防災教育の実践もお願いしたい。</p>	

7 開かれた学校づくり

<p>取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や家庭の学校行事への参加、学校評価への参画機会をつくるなど、開かれた学校づくりに努めます。 ・学校施設の開放に努めるとともに、地域と連携した開かれた学校づくりを推進します。 	<p>担当課の評価 (学校教育係) ○概ね達成している</p>
---------------	--	---

委員会の評価 (課題問題点など)	<p>児童生徒・保護者・教職員・学校関係者の学校評価を踏まえた学校運営をすすめている。</p> <p>「学校だより」「学級だより」等による教育活動の情報発信は行っているが、学校のホームページを活用した取り組みも充実させたい。</p> <p>地域人材や保護者が参加する学習活動にも取り組んでいるが、働き方改革も視野に入れつつ、より効果的な学習方法の工夫をしてほしい。</p> <p>町事業と連携した学校施設の地域開放も進んでいる。</p>
学識経験者の意見	<p>○安全の確保が前提ではあるが子供は地域の宝であり、地域が育てるといふ態勢がとれると素晴らしい。</p> <p>○安全・安心な学校づくりと地域に開かれた学校づくりを結びつけた施策に今後も取り組んでもらいたい。</p>

8 学校施設の整備

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備を計画的に推進し、小中学校や給食センターの施設・設備の保全及び修繕に努めます。 ・社会の変化に対応して、パソコンをはじめ、ICT機器の環境整備に努めます。 	<p>担当課の評価 (学校教育係)</p> <p>○概ね達成している</p>
委員会の評価 (課題問題点など)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設等の整備については、学校現場の現状を把握し、迅速に対応することができている。 ・ICT機器の環境整備と活用の推進については、関係部署と連携して、計画的に進めている。 ・学校教育施設等のあり方検討委員会により、学校施設の今後のあり方について検討した。今後は、ソフト面も考慮し、具体的な再整備の方向性を明らかにしたい。 	
学識経験者の意見	<p>○給食センターはもとより、小学校の校舎も耐用年数が残りわずかとは思ふ。早急に整備計画を作成すべきと考える。</p> <p>○子どもたちに安全な教育環境を提供することは大変重要なことである。また、学校施設は避難所としての機能を有していることから、今後も計画的に安全で適切な整備を図ってもらいたい。</p>	

IV スポーツ・レクリエーションの振興

1 スポーツ・レクリエーション活動の推進

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも町民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、各種教室や大会等の拡充を図ります。 ・気軽に参加できる仕組みづくりに努めます。 ・体育協会・スポーツ推進委員や各種スポーツ団体・サークルの育成、支援に努めます。 ・スポーツ少年団を支援し、青少年のスポーツ活動の充実に努めます。 ・スポーツ・レクリエーション種目の多様化に対応した指導員確保や人材バンク制度の検討など、スポーツ指導體制の充実に努めます。 ・子どもから高齢者まで参加できる新しいスポーツの普及・振興やスポーツによる交流を図ります。 	<p>担当課の評価 (社会教育係)</p> <p>○概ね達成している</p>
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>若者から高齢者まで、スポーツをとおした健康増進の大切さが求められており、現状では様々な競技団体が活動している。しかし、人口減少、少子高齢化により、競技愛好者が減少しつつある。どのように競技愛好者を増加させるかが今後の課題となっている。</p>	

	スポーツ少年団においても、各クラブとも新規会員が減少しクラブの運営が厳しくなる傾向である。
学識経験者の意見	○町民人口と同様、各競技者人口も減少して行く中で、活動を続けるのは難しくなっていると思う。近隣市町との協力が欠かせないのではないか。 ○中高齢者を対象とする種目について、障害者の参加が容易となるような大会等を企画・実施してほしい。

2 スポーツ・レクリエーション施設の整備

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 生涯スポーツの拠点として総合運動場を位置づけ、町民が利用しやすい施設改修と維持・管理を図ります。 身近なところで気軽にスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、多目的に利用できるスポーツ広場等の整備や学校施設の活用を図ります。 	担当課の評価 (社会教育係) ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	施設のネット利用予約を導入し、町民が簡単に予約できるシステムを取り入れ、活用できている。 総合運動場等体育施設の改修を実施し、町民が使用しやすい環境を整備した。 「安全」を基本としながら、老朽化している施設を限られた予算の中で計画的に改修を図る必要がある。	
学識経験者の意見	○町民人口と同様、各競技者人口が減少して行く中で、近隣市町と連携、分担して効率の良い整備を目指せないか。 ○体育協会をはじめとする各団体の支援は、地域、住民への幅広いスポーツレクリエーション活動の活性化につながるため、今後も引き続き指導及び助言を望む。 ○町民体育祭については、参加者が減少傾向にあることや消防団などの参加者の負担や選手の確保、プログラムなどに課題があるので、円滑に開催できるように各種団体の会議等で検討されるとよい。 ○子どもの事業は、少子化によって難しくなっていくことが予測される。また、利用者の高齢化も進むことが予測されるので、それらを踏まえた活動を検討することが望ましい。	

V 文化と感性を高めるまちづくり

1 個性ある地域文化の創造

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 文化活動の指導者、後継者の育成や自主的な文化芸術活動グループの活性化を図ります。 町民の文化芸術活動の成果を発表する機会を増やし、交流・研鑽の場の充実に努めます。 質の高い文化芸術の鑑賞会の提供や、芸術家との交流を通じた環境づくりを推進します。 文化センターが多様な文化芸術活動の拠点となるよう、町民参加型の自主事業の導入などを検討します。 地域の文化芸術活動の拠点施設として文化センターがもつべき機能を検討し、施設・設備の充実に努めるとともに、運営体制の充実に努めます。 	担当課の評価 (文化振興係) ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	文化センター自主事業として、新春寄席(林家木久扇、月亭方正ほか)、小学校芸術鑑賞教室(ミュージカル「ゼロ弾きのゴーシュ」、コンサート(オーケストラで歌う青春ポップスコンサート)を実施し、住民が質の高い文	

	<p>化芸術に触れる機会を提供できた。なお、コンサートは好評につき、チケット完売となった。また、文化センター開館30周年を記念し、NHKとの共催で「みんなDEどーもくん！」の公開収録を行った。</p> <p>文化協会芸能発表会やクリスマス音楽会を通して、住民の文化芸術活動の発表の場を支援した。</p> <p>文化センターの改修等、現在ある施設の整備、有効活用等に努めている。また、吹奏楽コンクールのリハーサル会場として多くの学校の招致に成功している。</p>
学識経験者の意見	<p>○多くの項目で言えることであるが、小規模の自治体である以上、単独で出来ることは限られている。全てを網羅して活動するより優先順位を決め重点的に行い、足りないところは近隣市町に支援してもらおう等、工夫が必要ではないか。</p> <p>○文化センターの改修等、財源の確保を早い段階からお願いしたい。</p> <p>また、今後も展示内容に工夫を凝らし、施設環境を整えるなど、時代のニーズに応じた運営をお願いしたい。</p> <p>また、文化の国際交流が活発に行われることを期待したい。</p>

2 郷土意識の醸成

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今日まで伝えられてきた祭りや民俗文化、年中行事などの無形の文化資源を見直し、郷土文化の継承と活用を推進します。 ・埴輪と古墳を積極的に活用しながら現代的価値を見だし、個性あるまちづくりと新たな文化の創造につなげます。 	<p>担当課の評価 (文化振興係) ○概ね達成している</p>
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>郷土の歴史や伝統を継承することにより、郷土意識の醸成を図ることは非常に重要である。町内各地区の歴史研究と文化財保護・活用を目指して「しばやま郷土史研究会」の活動を支援することができた。</p> <p>また、地域の祭りを後世に伝えるため、成田国際空港(株)、成田国際空港振興協会の支援を受け、山田地区の「あらい祭り」の記録映像を作成した。</p> <p>郷土意識は、短期間に醸成される性質のものでないため、継続して推進し、郷土の歴史や伝統を守り続ける手助けをしていきたい。</p>	
学識経験者の意見	<p>○成田空港の機能強化により失われてしまう地区も発生する。それらの歴史文化を伝承することは重要である。かつて、町史編纂時に大谷教授が学生を引率して資料収集を行ったように教育委員会が主体となって収集分類を研究すべきと考える。また、古文書解読講座等を開催し、郷土史研究会員をはじめとする町民の研究能力の向上を図るべきである。歴史文化の伝承は研究者と地域住民が協力して初めて充実した成果をあげることができる。</p> <p>○郷土資料館の設置や出前講座の開設等、積極的な取り組みをお願いしたい。</p>	

3 歴史文化資産の継承

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開発に伴う埋蔵文化財の調査と保護を図るとともに、指定されている無形民俗文化財の保存・継承に努めます。 ・郷土や埴輪に関する関心と理解を深め、はにわのまちとして文化をテーマとし、古墳・はにわ博物館の活用と積極的な情報発信に努めます。 ・「博物館友の会」「しばやま郷土史研究会」を中心に地域に根ざした歴史文化活動を行っている人材・グループの育成や文化財・歴史ボランティアの養成・確保などを図ります。 	<p>担当課の評価 (文化振興係) △課題がある</p>
--------	--	--------------------------------------

<p>委員会の評価 (課題問題点など)</p>	<p>価値観が多様化する人の生活のなかで、文化財や伝統文化は、強い意識を持って保護に努める必要がある。</p> <p>令和元年度は、博物館において企画展『門前町芝山のあゆみ』を開催し、併せて『門前町芝山散策マップ』を製作した。また、役場前にある「伊東家住宅」を国の登録有形文化財にするべく手続きを行い、令和2年3月に国の文化審議会が文部科学大臣に登録するよう答申した。</p> <p>今後は、積極的に芝山町の宝である「殿塚」「姫塚」周辺の保護・整備を行うことが急務であると考えます。</p>
<p>学識経験者の 意見</p>	<p>○古文書解読講座等を開催し、郷土史研究会員をはじめとする町民の研究能力の向上を図るべきである。歴史文化の伝承は研究者と地域住民が協力して初めて充実した成果をあげることができる。</p> <p>○地域住民が文化財等に身近に親しむ機会を拡充し、町民ひとりひとりが歴史遺産を感じ取れる取り組みをしてほしい。</p>